

2010年3月11日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
宇佐美 博高から皆様へのメッセージ

存在感がますます高まるインターネット

広告媒体としてのインターネットの存在感がますます高まっています。「2009年日本の広告費」(2010年2月、電通発表)によると、伝統的な広告媒体であるテレビ・新聞・雑誌・ラジオが前年比14.3%減となった一方、インターネットは同1.2%増と堅調に推移しました。この結果、昨年の広告費ランキングでは、インターネットは、新聞を抜きテレビに次ぐ第2位に躍進しています。

インターネットは、情報を集約した「ポータルサイト」、情報を調べる「検索エンジン」、通販が申し込める「Eコマース」など、これまでも様々なサービスを生み出して成長してきました。その結果、現在では、多くの情報が国境や地理的な壁も乗り越え、瞬時にして世界中に行き渡るようになりました。しかも、翻訳技術も進んでいることから、言葉の壁もなくなりつつあります。もちろん、情報収集や移動のためのコストやエネルギーも節約できるため、エコの観点からも大切な役割を持つといえましょう。

そして、現在も次々と新しいサービスが誕生しており、さらに大きな飛躍期を迎えようとしています。例えば、「SNSサイト」(社会的ネットワーク構築サービス)では、オンラインゲームが積極的に導入されています。その背景として、インターネット上で仲間と競い合い、あるいは協力しながら遊ぶという楽しみ方が、多くの利用者から支持されていることなどが指摘できましょう。また、「ツイッター(つぶやき)」というサービスの認知度も急速に高まってきました。これは、140文字以内の短い文章といった制約はありますが、多くの人が、自分の考えや意見をインターネット上で気軽に迅速に交換し合えるサービスであり、大変魅力があるものとなっています。こうした情報の迅速性や広がりに着目して、積極的に情報発信に活用する政治家も増えてきたようです。SNSサイトやツイッターなどを例にとりましても、日本だけでなく世界的に広がっており、今後大きな潮流となっていく可能性があります。その結果、関連する事業分野にも大きな波及効果が期待されましょう。例えば、これらサービスを快適に利用するために、「iPhone」や「グーグル携帯」など、インターネットに接続できる「高機能携帯電話」(スマートフォン)の需要が

1/5

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

拡大しています。そして、こうした各種端末機器に使われている電子部品は、高機能になるほど日本製が占める割合が高いことから、スマートフォンは、まさに技術立国日本を代表するプロダクトと言えます。さらに、インターネットの利用者や情報量が増加することで、「サーバー」（コンピュータ・ネットワークにおいて制御やデータを提供するコンピュータ）、「ストレージ」（記憶装置）などの需要や、これらを管理運用する「データセンター」などの需要も拡大しています。

このように、新たな機器やインフラ環境が整備されることで、新しいサービスが次々と生まれるという好循環が、今後も続くことが想定されます。しかも、インターネット利用者が増加することで、広告媒体としての価値もますます高まることでしょう。こうした新しい動きの中で、技術的優位性や斬新なビジネスモデルを武器として、多くの革新成長企業がさらに成長を加速させることを期待し、個別直接面談調査を徹底しながら、一社でも多くの新しい成長の目を見つけ出すことに注力してまいります。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
宇佐美 博高

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

- 当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【未上場株式などの組入リスク】

<低流動性資産のリスク>

未上場会社の発行する株式など流動性の低い証券については、保有証券を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような証券の転売についても契約上制限されていることがあり、基準価額に影響を与えることもあります。

<財務リスク>

未上場会社の発行する株式などは、会社の沿革、規模などの観点から、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、会社の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合があります。このような懸念が生じた場合、基準価額に影響を受けることも考えられます。

<その他の留意事項>

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

商品分類	: 追加型投信／国内／株式
お申込単位	: お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	: お申込受付日の基準価額
信託期間	: 2013年7月17日まで(2003年7月18日設定)
決算日	: 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	: 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
ご換金価額	: 換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
ご換金代金のお支払い	: 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	: 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額(1口当たり)

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.9%)を乗じて得た額

その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	: 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
投資顧問会社	: エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	: NCT信託銀行株式会社
販売会社	: 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会		
			日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
かざか証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第58号	○		
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。